（十八日夕刊）

休刊日　第一・第三日曜
定價　一部二錢郵稅　一ケ月六十錢　十五錢
廣告料　定行六十錢　指定廿錢　增
福島縣平町田町十六番地　磐城新聞社
發行所　電話五六四番
編輯人　蘆沼龍輔

筆のすさび

うらんかな

多く知られてない

新聞社相手の商賣

赤井嶽男

○

——漫畫のオム表情から觀察するに恐らく殆どあるかなきかの蚊の如き本當にし方なしの人物である樣に見える、更におあさまの後ろには

「そんなことをかなくたつてわかつてるぢやないの」と云ひ乍ら耳かくしの勿論無然ものゝ哀れを知つてる小母ちやんらしいのが之れはまた笑ひの爆發を極力抑へてるらしい表情で描かれてある見るからに如何にもグロテスクで而もイヤトの豐な漫畫。外の九種も大体百%の興味を陵る底のもので、之れが估ちんかなで各國の大小新聞社に向つて發んにモーションをかけるも個々文藝通信社と云つた處の商賣？そして——昭和六年度新年紙上用の材料見本は十月下旬出來致す豫定でございます。諸大宣傳よりも實質本位創意と信用と誠意を基礎とする弊社の製品を御期待願ひます。などと鹿爪らしい謹告(?)なるものを掲げ紙型幾ら鉛版何程と克明に値だんが書いてある

○

次は矢張り通信社の小說賣り込み、梗概を見た丈けでも質はずには居られぬ樣な風に出來てゐる。

（梗概）江戸は○△八幡の祭禮當日である。本道り囃子で趣向を凝らした花車が練り出して揉まれるやうな雜沓の中に、これまた一際目立つた婀娜ものがあれ　髮を男髷にして花笠を背に負ひ、燃ゆるやうな緋の縮緬の肌ぬぎで、溶ろけるばかりの手古舞姿。しかも桃の花をうす紙に包んだやうな肌の色が眩しくも人目に映つて、涼しい瞳が美しい唇が、あくまで魅惑的な男ごころを有頂天にして了ふ。今日をいふ斷然たる美人、超出色のたをやめである。それが今日のあたり若衆國志の喧嘩に割り入つて仲裁したものだ。○十○萬石の——がデレリと惚れ込んだのに無理はない、藝名を○吉、天與の麗色を備へてゐるところから世人はこれを天人のた○と呼んでゐた。だが、彼女は妖婦であつた。大大名に手折られてから、間もなく直臣△○の後妻となり、それ以來浪人、博徒、海賊など、次から次へと美貌を餌にしてわたり歩き色と慾とを充たすためにはあらゆる毒婦ぶりを發揮した。一方お○を後妻にしたばかりに、その隙し男に父を討たれた——は、親の仇を討ちたい一心から武術修練の旅に上つた。前者は妖にして艶後者は剛にして直、例へば針金に緋鹿子の帶を絡みつけたやうな讀もの、色つぽくもあれば勇ましくもあり、凄いところもあれば、ホロリと泣かされるところもある。千變萬化の內容はその讀み初めから讀者の心を吸ひつけて離さない、○師獨特の大講談である。

（その末尾へ持つ行つて一四分お蔵らと記されてある事は勿論である）

所謂時代の尖端をゆく新聞社のそのまた先へ先へと進む樣な商賣ではある

新刊紹介

眞愛子月號　赤井村小川郷眞愛子發行の勝寫版刷、同人雜誌「初めて詩を作る人々に」松本松甫を卷頭に吉岡獨步選詩歌俳川柳等がのつてゐる（非賣品小川郷某社）

——（今月今日）——

△外人の東京府下遊覽を許可す（明治三）△尾去澤の番頭長助は、今日に得意鑛山龍業暴動化す（大正一五）△大隈外務大臣傷ざいまして……「ナニ不けらる、條約改正を決行世論大に沸く終に來島恒喜に襲はる（明治二二）△く存じ居」……「わゝ其のた本多平八郎歿す　家康の娘さんは當分のうち、御親四天王の隨一大小の戰鬪五十七回曾て未だ敗を取りたる事なし、慶長六年……「娘が居らずば己むを桑名す萬石に封せられ晩得ぬ專主に逢はう」……「大

勸進帳新版

映畫欄

昨十七日封切

東亞キネマが秘藏してゐる珍品、我國始めての歌舞伎映畫として大正十二年に製作された「勸進帳」の新版が來る十七日より東京日本館で特に封切られる事になつた、この當時マキノにあつて嘗々たる名聲を以てゐた、市川幡谷の一代の記念のもとに特に撮影したもので、幡谷は舞踊に片岡市太郎が義經に松太郎が富樫に扮してゐる、しかも阪東妻三郎中村琴之助、阪東太郎等が各々一役受持つて顏を出してゐるファンには興味深いものがある

『息子評判記』撮影

マキノ川浪良太監督のもとにその手腕を認められてゐる柏木一雄は第一回作品として遊樂息子と淫蕩女のエロ生活を描いた「息子評判記」を撮影する出演者は東郷久義、新興映郎、都賀子、三舟絹枝、横田康、兒島武彥、郷賀清司

日活連續時代映畫輸出

日活映畫は最近可成り日本人が多くなつて見た、十字屋小ガタ映畫部では岡田嘉子主演「江戸子守唄」大藤信郎作「村祭り」等を發賣した小ガタ映畫協會では數十本の映畫をストックして活動輸出される、主として日本人間に上映されるもの

小型映畫の積極的進出

岡田嘉子等の馬力

近來小型映畫の流行は著しく都會では小型映畫の試寫會で盛んに開催されて小型映畫の將來によき効果をもたらしてゐるが、昨今積極的にそれが運動を始める

日本活動寫眞株式會社事務所は先程出來運動を始めてゐるしつい先程も時事講堂で小ガタ映畫の會を催して無數を擧げたりなどした。小ガタ映畫がどの程度まで普及されるか興味ある

米興行の手を經て北アメリカ屋小ガタ映畫部では岡田嘉子主演「江戸子守唄」大藤信郎作「村祭り」等を發賣した小ガタ映畫協會では數十本の映畫をストックして活動輸出される、主として日本人間に上映されるもの

小型映畫の積極的進出

岡田嘉子等の馬力

近來小型映畫の流行は著しく都會では小型映畫の試寫會で盛んに開催されて小型映畫の將來によき効果をもたらしてゐるが、昨今積極的にそれが運動を始める

考を以て致死し、この日歿す（慶長一五）

講談

鳥羽淀兵衛

東京　桃川燕二演

村田月光畫

（七八）

人間は身なりに依つて、好くも惡くも見えます、安兵衛は幾幅を飾らぬ人物で兵衛は幾幅を飾らぬ人物で近頃貧乏と來て居るから、身なりは隨分酷い、それが爲め惡く見られた、帳場格子の中に禿頭を光らし、大々大番頭と眼で話しながらきら眼鏡を掛けて、ギョロ〜、見世先を見廻はしてゐる是れが大番頭の市兵衛から出て來たのは、番頭の主人も必ず喜びますであり主人の別莊へ御養生ではないか

貴つた武士に相違ないから……」……「何の左樣な事がありませう、申し聞けましたならば直にお出迎ひにでも出ます」……「いや左樣か、何出迎ひなどに及ぶのでない、然らば罷通るでのに骨折りに依つて、危なあらう、許せよ」と禿頭の市兵衛と松藏の面を脫みながら奥へ案內されます、サア何うも市兵衛、松藏青くなつてしまつた……「大番頭さんタ、大變が出來た、長助どんの話しではあの浪人は素晴らしい腕前だと云ふから、市兵衛フト考へた……是れはいつぞや主人つてゐるが」……「助けて

拈華微笑

◇　決勝戰の瀨戸際で敗れた根本奥津組、惜敗の形容に誰異存ある

◇　大勢順應も拳に

◇……◇

◇　そう勘定通りにも行くまいが素人の算盤を米屋には他處の石。

◇　夜冷井邊開落葉つたが、大番頭さんが然らば己慈秋色到梧桐云へば差圖したからだとおもむべし△四綠の人　心靜かやまるより外仕方がないまに萬金の策に向つて進めば自殺。過失。

新調査員先づ各所得票の當不當

旦那樣は小梅の寮へ出養生からの禮の一言を申上げられぬとは貴樣の然調法となに嬢樣などは日每の樣に旦那樣のに嘗を申上げて居ります、定めしに喜びで、ございませう」……「待て〜」……「何う致しまして奥で三咲線のた稽古でございます」——「主人は小梅の別莊へ御養生ではないか

際二割二分減は差圖通りなことを云へばしかし方ないらしいで、萬一浪人者に呼付けられたら私はそんな氣はなかなかざとやうに靜々と進むが勝ち△三碧の人　生氣壯んなる日ゆえに氣を揃へて勵引拔かれるかも知れません」。

其んな事を云べば私は首を少くとも陰忍して時の來る例も差圖なんぞした事はない」。

▲一白の人　迷ひの淵に沈むよりも氣を晴々と持つべし▲二黑の人　後るとも躓かざとやうに靜々と進むが勝ち△三碧の人　生氣壯んなる日ゆえに氣を揃へて勵む日ゆえに氣を揃へて勵むべし△四綠の人　心靜かに萬金の策に向つて進めば吉日たり△五黃の人　報ひ少くとも陰忍して時の來る彼つべし△六白の人　油斷するときは意外の失敗を生ず注意肝要△七赤の人　進むこと七分守ること三分たれば間違なし△八白の人　乘出すべき氣運の見わて居て足の進まぬ日△九紫の人　人の爲めに勞を措まざは除慶自から集る

※明日……十月廿日
※吉の日……舊八月二十八日　曆九月十日

平町田町
高久病院
醫學士　高久忠
新潟醫學士　赤羽清
藥劑士　佐竹菊雄
電話五一三番
內科　小兒科
外科　花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

カキ貝御料理
カキフライ
カキナベ
スカキ
右之通り御案內申上ます。
十月十六日より
御料理仕出し
一の井
電話一六七

內科、小兒科　市原卯太郎
外科一般、婦人科　市原陸郎
外科、梅毒、淋疾　市原三三男
皮膚病
平町田町本通
市原醫院
（入院隨時）　電話一一四番

生花教授
池ノ坊流　生花を懇切叮寧に御教授いたします。お遊びがてら御出で下さい。
平町五丁目十六番地
須藤まつの

內科　內科二十
指腸病
專門
內科部
淋病
婦人病
皮膚病
專門
外科部
（平南町電話一〇七番）

長品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント特約代理店
金物問屋
和洋銅鐵
釜屋商店
磐城國平町五丁目
電話九番　九九番
振替貯金口座東京一〇九五六番
確實敏捷は釜の生命なり

平新川町十九
木村病院
電話一六四
產婦人科　院長木村寅次郎
女醫　木村コウ
內藏外科整形外科　醫學士　松永憲一
藥局　東京藥學士　萩原駿二

貸切は
他の追從を許さざる
破格最低料金の
磐城タクシーへ
平驛前
磐城タクシー
電話四五四番

一圓十錢のフランス
マルソー、ブランク
マルソー、ルージ　生葡萄酒
優良にして安價賣行き飛ぶが如し
平二　西村屋藥鋪
たはなし

果して適正か否乎
平地方の米相場
四圍の事情と綜合觀測して
本紙記事に一消費者の叫び

最近殆んど加速度的に低落取引價格その他四圍の關係引卒も必勝を期して出發すの一途を辿る米價の動きに就き平町の米穀商組合などでは少からず之れに關心し有つに至り機宜の値下げを申し合せてこの際所謂大勢順應の緩慢に陥でんとしつつあるは勿論當然の歸結とは云ふものゝ中には比較的高價なる當時に於て仕入れたる米を最近の突風的變動に殃され時節柄切ばつまつた現金化の必要から殆んど思ひ設けざるし迄に低廉なる時價によつて賣り捌かねばならぬ向なども多くべく之れ等は之の先きを支持し切れぬ弱い農家の足許につけ込んで法外の安値に買ひ入れる如き無辣なる商人とは異り一面まで同情に値するものあるが昨今の情勢を綜合平均し地方に於ける昨今の米價が産業との

佐藤健(補)走高跳花澤保男、赤津清、阿部順吉中津登三段跳猪狩五郎簡野幾之助、佐藤咲藏(第三)階部惣太郎(補)第二校では百米石島トミ、神谷芳子、高橋道子、鈴木トメ(補)二百米武田早苗、五十嵐キミ、高澤初枝、玉橋芳子(補)八百米繼赤塚千代、國井君子、石島トミ(第三)織田武子、林君子(補)走巾跳赤塚千代、平山ミナ白土智恵、里見安子(第三)飯島フミ、島津アミ北川マサノ、阿部淑子(補)三段跳草部英子、國井君子(第三)石井君子(第三補)外補缺樋口君子中山勝子、小谷咲子

模範講話
教材入選
阿部慈勝院住職

淨土宗布教全書出版社では模範講話並に教材の懸賞募集をしたが應募六百餘に達して去る二月締切直後に選の程漸く嚴選を了したが縣下からは大浦村最勝院阿部住職が第十五位に入選の旨發表された

十四俵、相馬郡九萬三千五百八十八俵、合計五十一萬一千二百八十五俵で是を前年同期の石城郡双葉二十二萬九千九百二十六俵、相馬七萬一千九十五俵、合計五十三萬六千八百九十五俵に比すれば約五割の二萬五千五百十五俵の減でここにも不況的節約が現てゐる

欲しい、其他の財物も欲しい、その上貴澤を云ふならば綺麗な姐さんを二三人も側に置いて三絃の音でも聞きながら淺酌といふ程度の愉快さになりたいものだ。

◇

だが人間として何よりも欲しいものは健康である。正岡子規は死ぬまで根岸の寮に寝つゞけて。上野の森に響く鐘の音と雨無川の畔に降る雨の音を一生涯の友として

投槍
投稿歓迎

死ぬ迄健康

健康に優る寶なし、金も

その長い間の病床生活といふものは實に氣の毒であつた、子規自身の書いたものでも詠みすてた句でもその殆んどは病臥中のもので

尤も概して健康な人間に比して病弱者の見る世界は深刻であり敏感であり從つて往々にして健康人には低調な樂觀主義者を作る傾向があるので、若し病弱者が規矩を嚴く完成せしめたと云

淋しく病骨を抱いて死んだりは寧ろ病弱が尊いものであつたかも知れぬ。

◇

しかし子規自身の苦腦は如實に悲慘極まるものでその證據には彼の書いたものに滲み出てゐる。そして彼は其の生甲斐を病床に發見したのである、病褥に苦しみ抜いた彼がこの法燈の慈光に浴する樣な光明を發見するまでの煩悶は健康人の到底想像にもつかぬ事であつたに相違ない。

◇

子規が十數年間病と闘つて來たことは彼が如何に健康を欲してゐたかを裏書するものであることは勿論だがすべても生きとして生けるものにして健康を欲しないものはない十日から十六日まで縣下一齊に執行される健康週間は醫者や賣藥業者には一寸皮肉だがよい思ひ付である、縣民は齊しく健康でなくてはならない。

なら子規の爲には健康よりは寧ろ病弱が尊いものであつたかも知れぬ。

◇

その長い間の病床生活といふものは實に氣の毒であつた、子規自身の書いたものでも詠みすてた句でもその殆んどは病臥中のもので

子規自身の苦腦は如實に悲慘極まるものでその證據には彼の書いたものに滲み出てゐる。そして彼は其の生甲斐を病床に發見したのである、病褥に苦しみ抜いた彼がこの法燈の慈光に浴する樣な光明を發見するまでの煩悶は健康人の到底想像にもつかぬ事であつたに相違ない。

◇

子規が十數年間病と闘つて來たことは彼が如何に健康を欲してゐたかを裏書する

秋晴に惠まれた
磐城高女運動會
新女性の跳躍を繞る
一萬の觀衆

縣立磐城高等女學校運動會は昨十七日午前八時から同校グラウンドに開催されたが絶好の秋晴れに惠まれた旗日なので男も女も着飾つた坊っちゃん嬢ちゃんを連れて續々詰掛け觀衆實に一萬餘に上り周圍をうづめ例年に勝るとも劣らぬ

き人波で一競技毎に急霰の如き拍手が行はれ非常な盛況であつた尚呼物とされる郡下小學校生徒の八百リレー百米決勝は山田小學校と平第二の大接戦を演じ遂に平第二が勝

都市對抗競技に
平校選手の遠征
三校を通して五十名
十九日郡山市へ

福島毎日新聞社の都市對抗面五時四十二分平發で曾我小學兒童陸上競技大會は十九日午前九時から積高等女學校で開催されるが第二校では佐藤校長、荒、西、横田、根本、志賀各教師の引率で平第三からも五名の教師外平第三から選手五十名を

有名
權者の
百七
意總
は

政四民三の分野で
猪狩氏「政」が最高
斯く映發した
得票
政三七票
民二一八票

一昨十六日を以て郡下一齊に行はれた平稅務署管轄內の選擧投票の結果は夙くも前日午後二時頃から

玉川、大浦、鹿島、浪江、小高三郡木炭同業組合の今年に施する澤渡村福延長三里の道路を縣道に編入すべく上、中、下の三部落民あげて縣に陳情書を提出猛運動を開始することになつた

本年上半期
木炭檢査數

不況で五分減少

三坂村道路
縣道編入陳情

三坂村では岡村から夏井驛

美友會
展覽會
來月一、二日マルトモビルで

石城郡美友會主催繪畫展覽會は來月一、二兩日四丁目丸友ビル三階で開催されたが

模範講話
教材入選
阿部慈勝院住職

淨土宗布教全書出版社では

東北實業庭球大會で
根本奥津組惜敗
四十八組の決勝戰で
俯仰天地に愧ぬ活躍

東北實業庭球大會は十七日午前九時より仙臺錦町コートに於いて開催參加チームは二十二日運動會を開催すべく目下準備中

根本　平　5—3　鴻池
奥津　伊藤
の成績で平勝戰に入り天下分け目の大接戦を見せたが

決勝
長谷　根本
竹内　平
仙税　4—3　奥津

綴驛手の大怪我
客の飛び降りを制し
誤つて右脚轢斷

一昨十六日午後から湯本町松柏館に於いて開かれた常磐六人炭礦代表に木曜日の委員を加へたる送炭二割二分減の協議會は既報の通り當日は軍に當面の難局打開と大勢順應する外一方あるまい得策の漠然としたまま申し合せに止まり同夜八時頃散會したが該問題に就いては日を同じ

組合大勢順應乎
二割二分減問題と
各社の大體意嚮

逃走したとの屆出によりが新町署で手配中同日午前一時頃、郡村郡小野新町入口に於て該自動車を發見逮捕し取押へ目下署に於て取

自殺！過失！頓死！
孤獨の悲哀と
難症を苦に縊死
內鄉村の雜貨商

內鄉村白水川平雜貨商白井太郎(四八)は十六日午前零時頃家人の寢靜まつたのを見澄まし自宅の梁に兵古帶を吊下げ縊首自殺を企つて一時間中を家人が發見附近病院の應急手當を受けたが時遂に死亡した原因は昨年一月中妻チヨに死別れ孤獨の日を送つてゐる內去る九月頃から糖尿病に冒され極度の神經衰弱に陥つた結果らしいと

旅先で、頓死
平町

材木町土工鈴木孝(四三)は去る十三日以來宮城縣宮城郡大澤村定義溫泉石垣旅館止宿中であつたが十六日午後八浴中浴室內で腦脳痲痺を起して變死した

投槍
死ぬ迄健康

健康に優る寶なし、金も

東家小燕三師
人氣王　外數名出演

當ル十月　十九日　二十日　午後五時　開場
貳日間
花火合間
顔見世ハ致シマセン
入場料　破格大勉强御一名　一等平土間　金三十錢

聚樂館
電四七〇

關東浪曲新進之大立物
關東流

毛糸
編物夜藝御致へ致シマス

國產優等毛糸　一オンス　十二錢
國產中細毛糸　一オンス　十四錢
國產極細毛糸　一オンス　十五錢
國產霜降毛糸　一オンス　十八錢
一封度(十六オンス)以上ハ卸價デ差上マス
編物器具類ナラトンナ品デモハシモトヤデ御間ニ合セ致シマス
平町與町　ハシモトヤ糸店

外交員募集
貳名

○電氣、機具の販賣員
○固定給、歩合及奬勵金支給す
○經驗の有無を問はず志望者は履歴書御送附ありたし(保證人を要す)
(姓名在社)

吉田眼科病院
平町紺屋町

黑い倉學生服

今年はウンと安くなりました
型も新らしく裁縫も丈夫に
皆樣にホメて頂ける自信ある
冬服を……澤山揃へました

特製品　小學生用　長ゃはんつき　2圓00錢より
特製品　中學生用　3圓00錢より

あかや洋服店
平二　電203

外科一般(入院隨意)
內臟外科專門
花柳病科
平町六丁目(振替)
本村外科醫院
電話三〇九

鍛錬の超高速で
自動車の乘逃げ
新町署に押へられた
磐タクの運轉手

內鄉村綴居住綴驛手齊藤米吉は昨十八日驛內で作業中平着午前十時一番下客車が綴構內に入ると飛び降りんとした六十歳前後の老人あるを發見急いで追

内鄉村自水川平雜貨商白井太郎(四八)は十六日午前零時頃家人の寢靜まつたのを見澄まし自宅の梁に兵古帶を吊下げ縊首自殺を企つて一時間中を家人が發見附近病院の應急手當を受けたが時遂に死亡した原因は昨年一月中妻チヨに死別れ孤獨の日を送つてゐる內去る九月頃から糖尿病に冒され極度の神經衰弱に陥つた結果らしいと

滋養劑の覇王
マルケイ　ヴィタミン
に限る
平五　山野邊藥局

衛生日割變更　昨十七日より二日間執行される筈であつた平町の清潔檢査は天候不順の爲昨日町會事務所で

人事
平町　人事

△出生
平町禰宜町六八郡山市堂前町七一日下部喜藏三正男
△死亡
平町三倉町八大浦村鹽木家之內二大谷保(一)